

# 山口ひろゆき 活動レポート

長生村議会議員

## キラリ輝く 長生村を!

こどもたちに輝く未来を!



HP &  
E-MAIL

事務所 〒299-4332  
千葉県長生郡長生村金田 2,873  
電話 (FAX) 0475-32-1590  
ホームページ <http://www15.plala.or.jp/hiroyuki/>  
E-mail [y-hiroyuki@zpost.plala.or.jp](mailto:y-hiroyuki@zpost.plala.or.jp)

発行者 山口ひろゆき後援会  
責任者 会長 芝崎周一  
印刷 株式会社 豊文堂

### 議会視察研修報告(11月10・11日)

高齢化・少子化による「人口減少対策」の自治体の実情(常陸太田市)と議会改革による住民への「見える化」に取り組む(大洗町)を視察しました。

#### 常陸太田市 人口減少時代を乗り切る 自治体対策

市の人口は、毎年100人から400人の社会減に加え、出生率の低下や死亡数の増加が毎年350人から600人の自然減となっている。

また、高齢化の進展も著しく、昨年は39.9%に達していることなどから、一定程度の人口減少は避けられないことは認めながら、若者世代をつなぎとめ、また、呼び込むための魅力あるまちづくり施策に力を注いでいます。

#### 市が取り組む、若者の定住への 経済的支援と「子育て上手」の まちづくり

○新婚家庭家賃助成制度は、市内の民間賃貸住宅への入居に、毎月2万円の助成により145世帯が利用。

○定住促進助成制度は、市内に

が実施されている。

住宅を取得した子育て家庭を対象に、建物の固定資産税の半額相当額を3年間助成したことで、2010年度は198世帯が利用。また、2013年度からは申請時に一括で最大20万円を支払うようになった。

○出生数の原因とされる結婚率の低下対策として、2010年8月から結婚相談センター「YOU愛ネット」を運営し、2012年度の結婚相談センターへの来訪者は466人、新規登録者57人で、32組が成婚したそうです。

○中学3年までの医療費助成はもとより、保育園・市立幼稚園の保育料は2人以上入園している場合の2人目は、月3000円を上限とする減額を実施。また、3人目以降は無料とした。

この他にも、様々な取り組み

今後、これらの効果を検証し、「若者雇用の劣化問題」「子育て家庭の経理的負担軽減」には一自治体では限界があり、国や県を巻き込む総合的な取り組みによる持続可能な地域づくりが必要と認識し検討している。



行政視察 (常陸太田市)

長生村も、今後、早急に対策を検討し、実行することが求められます。

#### 大洗町

「ついてこれないものはついていなくてよい」という徹底した議会改革の取り組みに注目

大洗町議会のこれまでの改革の取り組みを見てみると

○一般質問は午前中に傍聴者が多いため1日3名までとした。

○各委員会への傍聴が、原則として委員長の許可を受けずに傍聴できることにした。

○傍聴者へのアンケートを実施

したことで、議会運営、議員の態度、発言内容等の意見をいただき、発言内容の充実や品位の向上に大きな成果を見られた。

○政務調査費を廃止し、議会広報(ポスター、ダイレクトメール)・大学等のセミナー参加の研修費用や関係資料の充実に充てました。

○各会議への議員の出欠席を公表  
○議案に対する議員の賛否を「議会だより」で公表する。議員各自が「発言」「行動」に責任を持つことは当然のことです。

○議会報告会を3月・9月の議会定例会後に、町内9箇所の集会所で開催  
○議長公用車を廃止

○日曜議会の開催で、仕事や学校で傍聴できない方々に議会活動を知っていただくために開催したことで、町制への関心が高まっている。

○職員の成長を願って、各常任委員会での係長による答弁を実施

○各年度事業の進捗状況を12月議会定例会の常任委員会で把握することで、次年度予算や事業計画の策定に大きな成

果が見られた。

○スクリーンを活用しての一般質問は発言内容のわかりやすさと時間短縮に大きな効果を発揮し、傍聴者から好評を得ている。



行政視察 (大洗町)

こういった様々の取り組みの中で、大洗町議会の「見える化」が住民に積極的に図られています。長生村議会も、この研修を活かし、一人ひとりの「覚悟」と「実践」をもって改革を進めるべきと強く思いました。

### 継続は力なり 『自らの命を守る防災教育』

千葉県教育委員会指定「実践的防災教育総合支援事業」の一環とする災害時に的確に判断し、主体的に行動できる児童の育成をめざすための授業展開が、11月28日一松小学校で開かれました。各学年ごとが、災害発生時の様々な場面を想定し、グルー

プごとに検討し、発表する様子を見学しました。(表紙の写真) 今後、継続することで実践に役立つ結果につなげていただきたいと思いました。

### 記録を残すことが使命となった

同日、住民たちと「山田伝津館(でんしんかん)」を設立し、震災資料の収集と伝承活動を行っている語り部の田村剛一氏を迎え、自らの「震災体験と自主防災活動」をテーマに、地震発生当時の津波到達の記録映像とともに記念講演が行われ、氏の復興への思いが伝わってきました。



熱き語り部に聞き入りました

### 幸福の科学大学 不認可5年が短縮することはない

文部科学省管轄の大学設置・学校法人審議会は10月29日、幸福の科学大学について、不認可とするよう下村博文文科相に答申した。科学的合理性を立証できておらず、『霊言』を大学教育の根底に据えることは、『学術

の中心』としての大学の目的を達成できると認められない」が不認可理由だ。

文科省は「宗教を裏付けるものに、歴史的蓄積と研究の成果、文献がある。しかし、特定の人物の「守護霊」がその人の意思を離れて意見を述べる『霊言』は学会の中では研究がなされておらず、科学的・学問的アプローチがされていない。そのため、現時点では不認可であるが、未来永劫に不認可というわけではない」と説明した。また、審査中に大川総裁の著作が委員に送付されるなど「認可の強要を意図すると思われるような不適切な行為があったとして、今後、最長5年間、この学校法人には大学の設置を認めない」とした。11月21日、5人の有志で文科省を訪問した際は、今後、5年を限度とする不認可に対しては、短縮の可能性はないとの見解を示した。この問題で、幸福の科学大学は7日と11日、文部科学大臣に異議申立書を提出し、同大学の不認可の取り消しと設置許可を求めたが、学校教育法第139条により却下されていた。



霞が関の文部科学省

また、11・26付で下村博文文科大臣に対し「文部科学大臣の不正行為に関する弁明請求書」を提出した。村には、「この結果を待って、施設利用など今後の姿勢を報告するとしている。」

## お知らせ

オスプレイよりバナーを!

「憲法を考える」講演会

12月7日(日) 10時開演

講師 元東京都国立市長 上原公三氏

会場 大網白里市 中央公民館講堂

入場無料

主催 「憲法を考える会」

### 議会定例会12月会議

開会 12月9日

会場 議会議事堂

山口ひろゆき一般質問

1 地方創生について

2 義務教育課程における

村の教育方針について

※「意見・感想を

お聞かせ下さい。

### 弁護士による

### 無料法律相談

日時 12月27日(土)13時

場所 山口ひろゆき宅

電話・FAX 32-15990

\*より良い解決のため、相談

内容を事前にお知らせ下さい

(留守番電話のときは、

メッセージをお願いします)

### 編集後記

衆議院選挙がスタートしました。

今回の選挙は、アベノミクス推進を掲げ、与党で過半数を取ることが一番基本とする自民党の大義に、野党がどれだけ食い入るかが正直なところとなるのだらう。

自民・公明を支持する有権者は必ず投票所へ足を運ぶだろう。有権者の投票率の低下は即、自・公連立政権の安泰を保証するものだし、せめて70%以上の投票率になったのならどうなるだろう。

未来は、すべて有権者が投票所に足を運ぶかにかかっているのだ。

U・K